事業番号	1

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	地域ブランド戦略推進事業							担当部	市長公室	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業				担当課	秘書政策課	
	事業期間	平成24年度	～	平成31年度以降					担当係	市政戦略係	
	総合計画分野別計画 主目的	5 産業・交流	18 シティプロモーション	1 都市のブランドイメージを構築します							
	総合計画分野別計画 副目的								実施計画対象	○	
	予算区分	款	2	項	1	目	2	大	5	中	2
	根拠法令・個別計画	第6次小牧市総合計画									
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	本市が目指すブランドイメージ「夢・チャレンジ　始まりの地　小牧」を普及・浸透させ、市民の継続居住意向と愛着・誇りを高めていく。									
	内容（手段）	◆26年度実施内容 ○地域ブランド戦略の内容を広く周知するため、こまきブランドブックを市民や関係者等に配布した。 ○副市長・市長公室長・次長級職員からなる地域ブランド戦略推進委員会及び、市長公室次長・市民産業部次長・こども未来部次長、その他職員からなる地域ブランド戦略アクションプラン検討PTを設立し、地域ブランド戦略アクションプランの策定に関し必要な調査・検討を行い、11月にアクションプランを策定・公表した。 ○こまきブランドブックをこどもにも分かりやすく伝えるための絵本版ブランドブックを作成した。 ○市民にブランドコンセプトを伝えていくため、名鉄小牧線ドア横ポスターの掲出、市役所本庁舎内トイレ等へのブランドロゴキャラクターピクトサインの設置、ブランドロゴキャラクターをデザインしたこまき巡回バスのラッピング等を実施した。 ○ブランドコンセプトを実現していくためのアクションプランの一環として、星出宇宙飛行士講演会を実施した。 ◆26年度直接経費の内訳 ・報償費（53千円） ・食糧費（10千円） ・印刷製本費（4,242千円） 内訳：ブランドブック（1,782千円）、絵本版ブランドブック（2,203千円）、ポスター（257千円） ・地域ブランド推進支援委託料（6,511千円） 内訳：小牧市地域ブランド推進支援委託（5,885千円）、 小牧市公共施設内案内板ピクトサイン設置委託（626千円） ◆27年度直接経費の内訳 ※26年度繰越分 ・地域ブランド推進支援委託料（18,000千円） ・ピクトサイン設置委託料（680千円） ※27年度予算 ・消耗品費（350千円） ・印刷製本費（2,200千円）									
	受益者負担	無									

				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
コスト	費用	直接経費		千円	3,000	5,457	10,816	21,230
		正職員	従事者数	人	0.35	0.47	0.40	1.05
			人件費	千円	1,841	2,472	2,104	5,523
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	4,841	7,929	12,920	26,753
		対前年比		%		163.7	162.9	207.0
	財源	一般財源		千円	4,841	7,929	12,920	12,423
		国・県支出金		千円	0	0	0	14,330
		その他財源		千円	0	0	0	0

事業番号	1

業績

活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
地域ブランド戦略推進委員会開催回数	回	目標	－	－	4	2
		実績	－	－	3	
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
小牧市のブランドロゴマークおよびキャッチフレーズを知っている市民の割合	%	目標	－	－	－	↑
		実績	－	－	38	
		目標				
		実績				

事業の自己評価

平成26年度の実施結果	事業の達成状況	こまきブランドブックの配布など各種啓発活動を実施し、市内外に広くブランドロゴマークやブランドコンセプトの周知を図った。また、地域ブランド戦略推進委員会を開催し、今後具体的に事業を推進していくための施策を地域ブランド戦略アクションプランとして策定した。
	事業実施における課題	地域ブランド戦略は全庁的な取組みであり、各課が積極的に取り組んでいくものとの認識を持つこと、及び市民・企業・行政が一体となって事業を進めていけるような方法を検討していく必要がある。
	事業を縮小・廃止したときの影響	本市のブランドイメージを醸成することができなくなり、市民の市に対する愛着や誇り、継続居住意向を高めていけなくなる。
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	地域ブランド戦略アクションプラン（H27～H29）に基づき事業を実施していくとともに、地域ブランド戦略アクションプラン（H28～H30）を策定する。
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持　　事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	市民の継続居住意向と愛着・誇りを高めていくため、事業を継続していく必要がある。
	28年度以降の改善案	アクションプランの進捗管理や市民の継続居住意向、愛着・誇りの醸成についての現状把握を行いながら、取組み内容を随時検討していく。

二次評価

方向性の判定	判　定　理　由
維　持	一次評価のとおり。